この度は，お買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はお使いになる方が，いつでも見られるよう
大切に保管して下さい。

## この説明書には，製品を正確に組立て，

末永くご愛用していただく為の情報が記されております。
本書の指示通り組立て，ご使用下さい。

上記の範囲内でご使用下さい。


この商品の移動棚は，進加で購入することか できます。（棚受部品込み） こ希望の際ほご購入先へお問い合わせください。

## 《組立て前に下記注意事項を必ずお読み下さい》

## —不用意•不適切な組立ては事故につながる恐れがあります

ダンボール箱からの取り出しや，組立ては2人以上でおこなってください。

- 工具等の取り扱いには充分ご注意ください。
- プラスドライバーの先端＋字は，ネジの十字と合ったものをご使用ください。
- 組立ての際は，製品部村•部品の角でのケガや，床•壁など，室内をキでつけないようご注意くだきい。
- 組立ての際は，お子さまに注意し広い場所でおこなってください。
- 組立て手川順に従つて部村の取付け，䊽絃めなどを碓実におこなってくだきい。組立て手順が違うと組立てられない場合があります。
また，部材の取付け，ネジ絃めなどが不充分ですと使用中に製品が破損しヶガをする恐れがあります。
- ネジ絃めが固い場合には，家庭用のロウや石けんをネジに塗ると入りやすくなります。
- ボンドを使用して固定する部村は，10分程度で固まり始めます。

作業を途中で放置すると，淂間や，ゆがみが発生しても修正できなくなる場合があります。
組立て方などに疑問がありましたら，すぐにご蓮絡いただくか，逗絡できない状況の場合は部村が固定されなかように，一旦取り外してからフリーダイヤルへお問い合わせください。


電動工具を使用する場合の注意


## DARTS CHECK

最初に必要な部品•部材がそろつているかご確認下さい。

音
細かい部品は，箱などにまとめると，紛失を防き組立て作業がスムースです。

| かたち | なまえ | 数 | チェック |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| （5）manmman | 組立ネジ | 8 |  |
| $\theta$ | 棚受ダボ | 4 |  |
| 0 maxm | 耐震ラッチ取付ネジ <br> レーベル固定ネジ | 12 |  |
| $\times$ amx | ワンタッチヒンジ取付ネジ | 16 |  |
| －（茶色） | ダンパー取付ネジ | 4 |  |
| $\square$ | 木ダボ大 | 4 |  |
| $\square$ | 木ダボ小 | 4 |  |
| $\infty$ | ボンド | 1 |  |
| (n) | 耐震ラツチ | 2 |  |
| 为 | 耐震ラッチ受 | 2 |  |
| Nos | $\begin{aligned} & \text { ダンパーセツト } \\ & \text { (本体+゚レー) } \end{aligned}$ | 2 |  |
| （7） | 連結金具（ボルト） | 2 |  |
| （8）${ }^{\text {a }}$ | 連結金具（ナット） | 2 |  |
| $\leqslant$ | ジョイントキャップ | 3 |  |


| $\square$ | ジョイナー | 1 |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| （9） 3 | 背板ストッパーセット （ストッパー＋固定ネジ） | 4 |  |
| \％ | ワンタッチチンジセット （スライドレンジャベーズントート） | 4 |  |
|  | 棚ストッパー | 4 |  |
| （3） | 樹脂レーベル | 2 |  |
| 0 | レーベルキャツプ | 2 |  |

部 1 有
印には，部材名称が印刷されています。

（A）天 板（1）

（B）天 板（2）

（C）地 板

（D）移動棚

（F）右側板
©

（1）右 扉

組立前に確認して下さい！

## 耐震ラッチの取付けについて

《次のような場合には使用できません。取付けないで下さい。》


3度
本体に，前後左右3度以上の傾きがあると使用できません。


毛足の長いビゅうたんの上など，不安定な場所では使用できません。


扉の開閉により，本体がゆれる状態では使用できません。 ※本体を壁面に固定するなどの措置をとって下さい。

- 注意事項
- 耐震ラッチや受けをむやみに取り外したり分解しないで下さい。
- 耐震ラッチは震度4相当以上で作動する構造となっていますが，建物の構造，

地盤，設置階数，収納物の重量等に影響を受ける為，震度は目安とお考え下さい。

- 収納物が耐震ラッチに当たつたり挟みこまれたりしないようにして下さい。
- 炊飯器等の水蒸気や煙が直接耐震ラツチにかからないようにして下さい。
- 耐震ラッチが作動し，扉がロックされている状態で無理な力をかけないで下さい。
- ロック時でも扉が約 2 cm 開きますので，小物が落下する恐れがあります。
- 揺れがおさまれば扉のロックは自動で解除されます。
- 扉を開く際は，収納物の落下に充分注意して下さい。
- 万がーロックが解除されない場合には，扉やキャビネットに強制的に振動を与えた後，収納物の落下に充分注意して，ゆっくり扉を開いて下さい。


## 以上を確認のうえ取付けて下さい。

本体が傾いていたり，揺れてしまうような状態では使用できません。

## 免責事項

- 天災時の保障は致しかねます。
- 耐震ラッチは収納物の破損を防止するものではありません。
- 誤つた取付け，使用方法では耐震ラッチ本来の性能が発揮されませんので，誤作動，破損等が発生しましても一切責任は負えません。 －地震以外の揺れによってもロックが作動しますが，耐震ラッチの欠陥，故障ではありません。

| （1） | 樹脂し一ベル | 2 |
| :---: | :---: | :---: |
| 0 mmum | レーベル固定ネジ | 4 |



天板2）に邧震う＂チチ・木㚈术大を取付けます。

|  耐震ラッチ 2 <br>  耐震ラッチ取付ネジ 4 <br>  木ダボ大 4 |
| :--- |





左右側板にペースブレート・ダンパーを取付けます。

|  | ベースプレート | 4 |
| :---: | :---: | :---: |
|  | ワンダッチヒンジ取付ジ |  |, 8



ベースプレートには前後方向があります。取付の際，イラストを参考に て下さい。


## ダンパーセツトの取付け方

ダンパープレートはイラストを参考に正しい向きで取付けてください。


2



本体の天板 2 （に天板（1）を取付けます。



（木ダボの入る穴にボンドを入れて下さい）


2人での作業がより
安全でスムーズです。
※輲倒ななどに分注意して作業を行って下さい。


「（1設置場所を決めて固定します。

| $\square$ | レーベルキャップ | 2 |
| :--- | :--- | :--- |

※転倒などに十分注意して作業を行って下さい。



5斤左右扉にスライドヒンジを取付けます。

| 2an | スライドヒンジ <br> ワンタッチヒンジ <br> 取付ネジ | 4 |
| :---: | :---: | :---: |

51本体に移動期を取付けます。

| $\infty$ | 棚受ダボ | 4 |
| :---: | :---: | :---: |
|  | 棚ストッパー | 4 |






扉のはずし方

ボタンを押します。
※扉の落下にご注意下さい。


太他の扉も同様に取付けます。

複数台並べて使用する場合の上置き本体同士の連結のしかた

| （3） | 連結金具（ボルト） | 1 |
| :---: | :---: | :---: |
| （0） | 連結金具（ナット） | 1 |
| $\bigcirc$ | ジョイントキャップ | 2 |
| $\bigcirc$ | ビス穴シール | 2 |



## 屝同士の間隔の調整のしかた

```
扉同士の間隔を調整することで, 扉の並びを揃えます。
```


＊尿の調整後，臨を参考にラッチ受を取付けて下さい。
POR－5512D U
（別売り）
（2）（1）（2）（1）


## ポイント

隣り合う扉同士の間隔の目安
（1）1つの製品内の両開き扉同士の間隔：3ミリ （2）POR－5512D Uの中央の扉同士の間隔 および，隣り合う製品間の扉同士の間隔：4ミリ


POR－1812TV （別売り）

POR－1860D
（別売り）

## 安全上の注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するため，必ずお守りいただくことを，説明しています。
—不用意•不適切な組立て，および，誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し，説明しています。—

| 安全上の注意（必ずお守りください） <br> お使いになる人や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するため，必ずお守りいただくことを，説明しています。 <br> —不用意•不適切な組立て，および，誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し，説明しています。 |  |  |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 表示の説明 | ! 警告 | この表示の内容を無視して，不用意，不適切な組立て，および，誤った使い方をすると，人が死亡または，重傷を負う可能性が想定される内容 を示しています。 | ！注意 | この表示の使い方をす損害のみの | なな組立て，および，誤つた定定される内容およで物的 います。 |
| 設置方法設置環境 に関する警告•注意事項 | －家具はガタッキのないよう，水平を保つように置いてください。 <br> 床に傾斜や段差のある不安定な場所への設置は，扉の開閉や引出しの出し入れがスムー ズでなかったり，イスの強度が落ちるなど，家具が故障する原因となったり，倒れてケガをす るおそれがあります。 <br> 地震などで家具が倒れないように室内の壁，床，天井などに固定用金具で固定するなどし てくだきい。固定できない場合は，家具の置き場所や置き方を注意してください。また，背の高い家具の上には物を置かないでください。転倒や落下によりヶがをすることがあります。二段重ね，三段重ねの家具で，連結金具が付属されている製品は，上下段を連結金具でし つかり止めてください。また，横に連結する家具も連結金具でしつかり止めてください。倒れてケガをすることがあります。 |  | －直射日光や洽暖房機の強風などが直接当たらないようにしてください。家具の変色，そ以， ヒビ割れ，ゆがみの原因となります。 <br> －高温•多湿の部屋で空気が㢼留したままの状態では，湿気などでガやダニが発生しやすく なりますので，健康を害さないように家具の裏側にも空気か流れるように壁から少し離した以，部屋の換気をしてください。 |  |  |
| 使用方法 <br> 取り扱い <br> に関する <br> 警告•注意 <br> 事項 | 表示耐荷重以上の <br> 家具の上に立った でください。家具が ります。 <br> －引出しや引手の上 ださい。また，扉や重心が前に移り転 －可動部のある家具は ケガをするおそれが －電気製品等を収納品の故障や火災の －分解や不当な修理 | を家具に置かないでください。 <br> ，とんだい，踏み台代わりに使つたり，不安定な姿勢で腰掛けたりしない れる原因となります。また，安定をくずし倒れてケがをするおそれがあ <br> 乗つた以，扉などにぶら下がつた以，無理な力で引ゝつ張つたりしないでく出しを同時にいくつも開けた以，引き出したりしないでください。 <br> するなどしてケがをするおそれがあります。 <br> ，その操作で手を挟んだりしないように充分注意してください。 <br> あります。 <br> る場合は，充分弥間をあけて通気性を良くしてご使用ください。電気製因になります。 <br> 改造をしないでください。破損やヶガをすることがあります。 | －家具を移動する時は，収納物を入れたままや，ガラスをはめたまま移動させないでください また，床の上を押したり，引きずつたりせずに2人以上で持ち上げるなどして運んでください床をキズつけたり，収納物やガラスの落下によりケガをするおそれがあります。 <br> －天板には不安定な物をのせないでください。また，家具の安定性を保つためにも重い収納物はなるごく本体の下の方に収納するようにしてください。 <br> －天板，棚板などの上に灭皿や食器など，底のざらついた物を直接置いて引引きずつたりすると傷が付く事がありますのでご注意ください。 <br> －家具の表面（プリント化料紙）にシールや粘着テープなどを貼らないでください。はがす時に家具表面村がいつしよにはがれるおそれがあります。 <br> －ストッパーの付いていない引出しは抜け落ちないように，いつばいに引き出さないでくださ い。落下によりケガをすることがあります。 <br> －フットの先端や，イスの脚先などによる床村の傷を防止するため，脚先につエルトを取りつけ るか，ラグ・カーペットなどの數物を敷いてご使用ください。フローリングの村質には様々な種類があり，硬い材から軟らかい材まで多様です。材質によっては，ご使用中に傷をつけて しまうおそれがあります。 <br> －取りはずしのできる棚板は，棚受具•棚受ダボを確実に取り付けてください。中途半端な取り付けでは棚板がはずれて物が落ち，破損やヶがをするおそれがあります。 <br> －製品に水や蒸気をかけた以，直接熱し物やぬれた物を置かないでくだきい。製品を傷めます。 |  |  |
| 使用中に関する注意事項 |  |  | －ごくまれに木材の接着剂に含まれるホルムアルデヒドが残っている場合があります。肌の弱い人はアレルギー症状をおこす場合がありますので，使い始めには換気を充分にし てください。 <br> 尚，生後24ヶ月末満の乳幼児の衣類は臭いがつかないようビニールやがリ袋に包んで収納てください。 <br> －家具に被害を与える虫害（木材の表面に木㞕が噴出し，1～2ミリほどの穴）を発見した場合 は，直ちに市販されている木食い虫用の殺蟑て殺虫や防虫処理をしてください。放置すると螛が拡大するおそれがあります。 <br> 異常を発見したら，そのまま使用せず弊社フリーダイヤルまでお問い合わせくだきい。破損やヶガをすることがあります。 |  |  |
| 保守 <br> 点検に <br> 関する <br> 警告事項 | －ときどき各部のネジ類がゆるんでいないか点検し，増し締めをしてください。 ゆるんだまま使用すると破損や倒れてケガをすることがあります。 |  |  |  |  |
| その他注意事項 |  |  | －お買い上げ後の，輸送•移動•落下などによる故障•破損に対する対応は致しかねます。取扱説明書の注意事項をお守り頂けなかった原因による損傷，また，仕様の限度を超えた使い方をした場合の故障•破損に対する対応は致しかねます。 <br> 天災などの不可抗力による故障•破損に対する対応は致しかねます。 |  |  |
| お手入れ方法 （III） | （1）お手入れには，柔らかい布をお使いください。 <br> （2）汚れを落とす場合は，カラ拭きまたは，ぬらして固く絞った布などで拭いてください。 <br> （3）汚れのひどい場合は，薄めた中性洗剤を使つて汚れを取以，ぬらして固く絞った布にて洗剤が残らないよう拭き取以， さらに仕上げは，乾いた布で水分を充分に拭き取ってください。 <br> －化学雑巾を長い間接触させたままにしておくと，変色したり，表面がはげたりする事がありますのでご注意ください。 －シンナー・アルコール類など溶剂は表面を傷めますので絶対に使用しないでください。 |  |  |  | PL保険対象商品 （生生物物的㜔責任保険） |


| 安全上の注意（必ずお守りください） <br> お使いになる人や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するため，必ずお守りいただくことを，説明しています。 <br> —不用意•不適切な組立て，および，誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し，説明しています。— |  |  |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 表示の説明 | 〔警告 | この表示の内容を無視して，不用意，不適切な組立て，および，誤った使い方をすると，人が死亡または，重傷を負う可能性が想定される内容 を示しています。 | 〔注意 |  | な組立て，および，誤った定される内容および物的 います。 |
| 設置方法 <br> 設置環境 <br> に関する <br> 警告•注意 <br> 事項 | －家具はがタッキのないよう，水平を保つように置いてください。 <br>  <br>  おおそれがあります。 <br> －地震などて家县が㨽わないように空内の壁，床，天井などに固定用金真て固定するなどし <br>  <br>  －二段重喠，三段重ねの家具で，連結金具力かけ属されている製品は，上下段を連結金具でし つかり止めてください。また，菁に犍結する家具を連結全具てしつかり止めてください。倒れて方かをすることがあります。 |  | －直射日光や泠暖房機の強風などが直接当たらないようにしてください。家具の変色，そり， ヒビ割れ，ゆがみの原因となります。 <br> －高温•多湿の部屋で空気が滞留したままの状態では，湿気などでカビやダニが発生しやす なりますので，健康を害さないように家具の裏側にも空気が流れるように壁から少し離した り，部屋の換気をしてください。 |  |  |
| 使用方法 <br> 取り扱い <br> に関する <br> 警告•注意 <br> 事項 | - 表示耐荷重以上の物を家具に置かないでください。 <br> - 家具の上に立ったり，とんだり，踏み台代わりに使ったり，不安定な姿勢で腰掛けたりしない てくだきい。家县が謀れる原因となります。また，安定をくずい国れてながをするおそれがあ待す。 <br>  <br>  <br>  <br>  ヶがをするおそれがあります。 <br> 品の故障やや災の原因になります。 <br> －分解や不当な修理，改造むしないてくたたさい。破損やかがきすることがあります。 |  | －家具を移動する時は，収納物を入れたままや，ガラスをはめたまます種動させないでください。 また，床の上を押したり，引引ずつつたりせずに2人以上で持ち上げるなどして運んでください。床をキズつけたり，収納物やがラスの落下によりケガをするおそれがあります。 <br> －天板には不安定な物をのせないでください。また，家具の安定性を保つためにも重い収納物はなるべく本体の下の方に収納するようにしてください。 <br> －天板，相板などの上に灰皿や食器など，底のざらついた物を直接置いて引きぎつたりすると傷が付く事がありますのでご注意ぐさせい。 <br> 家具の表面（プリント䚰倠紙）にシールや粘着テープなどを貼らないでください。はがす時に家具表面村がいつしよにはがれるおそれがあります。 <br> ストッパーの付いていない引引出しは抜け落ちないように，いつばいに引きき出さないでくださ い。落下によりケガをすることがあります。 <br> つットの先端や，イスの瞋先などによる床材の傷を防止するため，眭先につエルトを取りつけ るか，ラグ・カーペットなどの數物を數いてご使用くだきい。フローリングの材筫には様々な種類があり，硬い林から軟らかい材まで多様です。材質によっては，ご使用中に傷をつけて しまうおそれがあります。 <br> －取りはずしのできる棚板は，棚受具•棚受多术を確実に取り付けてください。中途半端な取り付けでは棚板がはずれて物が落ち，破損やヶがをするおそれがあります。 <br> 製品を傷めます。 |  |  |
| 使用中に関する注意事項 |  |  | －ごくまれに木材の接着剖に含まれるホルムアルデヒドが残っている場合があります。肌の弱い人はアレルギ一症状をおこさす場合がありますので，使い始めにはは鮑気を充分にし てください。 <br> 尚，生後24ヶ月未満の乳幼児の衣類は臭いがつかないようビ二ールやポリ㗽に包んで収納てください。 <br> －家具に被害を与える虫害（木材の表面に木㞕か㖽出し，1～2ミリほどの穴）を発見した場合 は，直ちに市眅をれている木食い蛹の殺蛴て殺虫や防虫処理をしてくだきい。放置すると螬が拡大するおそれがあります。 <br> －異常を発見したら，そのまま使用せず篎社フリーダイヤルまでお問い合わせください。破損やケガをすることがあります。 |  |  |
| 保守 <br> 点検に <br> 関する <br> 警告事項 |  ゆるんだきま使用すると破㥧や劁れてケがをすることがあります。 |  |  |  |  |
| その他注意事項 |  |  | －お買い上げ後の，輪送•移動•落下などによる故障破損に対する対応は致しかねます。 －取报説明書の注意事項をお守り頂けなかつた原因による損儫，また，仕榚の限度を超えた使い方をした場合の故障•破損に対する対応は致しかねます。 <br> －天災などの不可抗力による故障破損に対する対応は致しかねます。 |  |  |
| お手入れ方法 （III） | （1）お手入れには，柔らかい布をお使いください。 <br> （2）汚れを落とす場合は，カラ拭きまたは，ぬらして固く絞った布などで拭いてください。 <br> ③ 汚れのひどい場合は，薄めた中性洗剤を使って汚れを取り，ぬらして固く絞った布にて洗剤が残らないよう拭き取り， さらに仕上げは，乾いた布で水分を充分に拭き取ってください。 <br> - 化学雑巾を長い間接触させたままにしておくと，変色したり，表面がはげたりする事がありますのでご注意ください。 <br> - シンナー・アルコール類など溶剤は表面を傷めますので絶対に使用しないでください。 |  |  |  | PL保険対象商品 <br>  |

## ワンタッチヒンジ談明書


注：調整は扉が全て開いた状態で行います。
（扉を閉じた状態で前後にずれが生じた場合

